

## BUILD OITA トークイベント「けんせつ小町座談会」(概要版)

と き : 平成29年8月27日(日) 13:00~16:00

と ころ : コンパルホール3F多目的ホール(大分市府内町1丁目5番38号)

参加者数 : 101名

### < プ ロ グ ラ ム >

12:30~ 受付開始

13:00~ 開 会

主催者挨拶

公益財団法人 大分県建設技術センター 理事長 進 秀人

来賓挨拶

厚生労働省大分労働局 職業安定部長 佐伯 直俊 氏

13:00~14:30 第1部 特別発表

「女性技術者のお仕事を紹介します」

講 師 : 1) 株式会社 青木繁建築工房 大分事務所 高橋 由美 氏

2) コマツスマートコンストラクション 中村 恵美 氏

3) ミヤシステム株式会社 宮脇 恵理 氏

14:30~14:45 休 憩

14:45~16:00 第2部 けんせつ小町の座談会

ナビゲーター : 岩崎 朋美 氏 (フリーアナウンサー)

会場リポーター : 野良レンジャー (吉本興業株式会社)

出演者 : 荒木 五月 氏 (株式会社 日建コンサルタント)

: 河田 梨沙 氏 (別府市 建設部)

: 高橋 由美 氏 (株式会社 青木茂建築工房 大分事務所)

: 中村 恵美 氏 (コマツスマートコンストラクション)

: 長友 悠 氏 (株式会社 川原建設)

: 久野 悦子 氏 (公益財団法人 大分県建築士会)

: 吉田 美幸 氏 (国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

16:00 閉 会



## 挨拶

### 主催者挨拶



公益財団法人 大分県建設技術センター 理事長 進 秀人

私たちの業界は、男社会と言われていたが、現在では女性の力が不可欠な時代になった。そういう事を実感していただきたい。若い方たちに、業界を引き継いでもらうため、魅力を発信することが大事になってきた。今後も続けていきたい。

### 来賓挨拶



厚生労働省大分労働局 職業安定部長 佐伯 直俊 様

土木建築業界で活躍する女性技術者の仕事内容がどのようなものか、仕事の魅力など生の声、本音など少しでも多くの情報を伝えていきたい。

今、多くの企業で労働条件が改善されてきており、女性が働きやすい職場環境も整いつつある。「けんせつ小町」という言葉が県内に定着し、女性技術者が増えることを願っている。

## 第1部 特別発表

女性技術者3名にご自身の仕事内容などを発表していただきました。



発表者：高橋 由美 氏

(株式会社 青木茂建築工房大分事務所)

「建築士のしごと」

建築士の種類、資格、就職先に関する説明と、設計事務所の中でも、意匠設計事務所に関する業務の一連の内容を、図面や写真のスライドを使用し、詳しく説明。



発表者：中村 恵美 氏

(コマツスマートコンストラクション)

「建築現場に新しい風を～女性活躍とスマートコンストラクションの全面活用」

ICTで全ての建設現場を繋ぐ。i-Constructionで建設現場を変えていきたい。実際に女性でもICT建機を簡単に操作できることを動画を使って説明。



発表者：宮脇 恵理 氏

(ミヤシステム株式会社 常務取締役)

「建設業界で活躍できる人材となるには？」

かつては、育児をしながら働くことが難しかったため、もっと若い人や女性が活躍できる業界にしていこうと人材育成などの活動を行っている。女性ならではの視点、コミュニケーション能力、ITスキルなどが即戦力となる。

## 第2部 けんせつ小町座談会

フリーアナウンサーの岩崎朋美さんをナビゲーターに、お笑い芸人の野良レンジャーを会場リポーターに迎え、県内で活躍する官民の女性技術者8人が座談会を開催。仕事を目指したきっかけ、入社時のイメージや不安、仕事と家庭の両立などについて話し、来場者からの質問に答えるなどしました。



※写真(正面)上段左から

出演者

：宮脇 恵理 氏(ミヤシステム株式会社 代表取締役)  
吉田 美幸 氏(国土交通省大分河川国道事務所)  
久野 悦子 氏(公益財団法人 大分県建築士会)  
高橋 由美 氏(株式会社 青木茂建築工務大分事務所)  
中村 恵美 氏(コマツスマートコンストラクション)  
河野 梨沙 氏(別府市 建設部)  
長友 悠 氏(株式会社 川原建設)  
荒木 五月 氏(株式会社 日建コンサルタント)

ナビゲーター

：岩崎 朋美 氏 (フリーアナウンサー)

会場リポーター

：野良レンジャー (吉本興業株式会社)

### 1. 仕事との出会い、やりがい



長友 悠 氏

幅広い分野で就職活動をしていたが、現在の職場の現場見学をした際に、カッコいい！と思ったのが出会い。実際に仕事をしていて、難しいことも多いが、工事が終了し、形になった時に達成感を味わえることにやりがいを感じている。

荒木 五月 氏

中学生の時にパークプレイスを調べる機会があり、家と街並みが調和している空間が作られていることに感銘を受け、高専の土木科に入学した。知らないことがたくさんあるので、すべての仕事にやりがいを感じている。土木の仕事は新しい技術がどんどん入ってきているので、新しい人にもたくさんチャレンジしてほしい。



### 2. 仕事の苦勞



河田 梨沙 氏

子供が小さかった頃は育児との両立が大変な事もあったが、先輩や同僚など周りの方の理解と協力で助けられた。日頃からお互いの意見を伝え合っていて、後輩たちの意見を聞く事も心がけ、コミュニケーションを大切にしている。

高橋 由美 氏

周りの女性技術者のなかでもよく話にあがるのは、現場のトイレ環境について。トイレは、現場監督の意識があらわれている部分であると思う。我慢をしたりすることもあるので、トイレの環境がいいと、仕事がしやすいと思う。





久野 悦子 氏

入社当初は、女性技術者の地位がまだ確立されているとは言えなかったが、最近は技術だけでなく、営業など様々な部署で女性が活躍している。「女性はどう思うか」という視点を期待されているので、できるだけたくさんの方に触れて、その視点を大切にすることが重要だ。

## 2. 働きやすい環境づくり

中村 恵美 氏

コンピューターを使うことで、同じ工事でも女性が関われる部分がものすごく増えている。ICTになればなるほど、細やかな気付きができる女性は活躍することができる。現場に出るときは、学ぶ姿勢をもつことを忘れずに。後輩に技術や、経験を伝えるために、今は自分が率先して活躍する場を作っていきたい。



吉田 美幸 氏

土木というと、カ仕事というイメージを持ちがちだが、身近にも土木を支える仕事があるということを紹介。気象庁とは別に、インフラ管理や計画の為に雨と川の水位を観測しており、現在はカメラの画像から流速や流量を計測している。50年間の観測を支えていたのも、実は土木の分野である。こういった分野こそ、女性が働きやすい分野ではないでしょうか。



宮脇 恵理 氏

女性ができることが増えていく中で、「建設ディレクター」といった職域などが作れたらよい。他業種で働く方と交わることも大事。女性は、自分が見たもの、できると思ったものを追い求めていく力があると思うので、いろんな業種の方と会って、視野を広げていくことが大切。そのような場を作っていけたらと思う。



## 講 評



国土交通省九州地方整備 大分河川国道事務所長 今田 一典 様

ものづくりに対するやりがい、達成感を感じられるのが土木の業界。業界の魅力を女性の視点から伝えてもらい、大変心強い。結婚し、子供ができて長く女性ならではの活躍をしていただきたい。今後の業界発展や若い技術者が育つことを目指していきたい。